

IV 參考資料

1 診療報酬及び薬価基準改定の推移

診 療 報 酬		薬 価 基 準				
		改定年月	引下げ率 (%)		医療費	
改定年月	引 上 げ 率 (%)		薬価ベース	治療費		
昭和 40年 (1965)	1月	総医療費で9.5	昭和 40年 (1965)	11月	11.0	4.5
	11	総医療費で3.0				
42 ('67)	12	医科7.68、歯科12.65	42 ('67)	10	10.2	4.1
45 ('70)	2	医科8.77、歯科9.73	44 ('69)	1	5.6	2.4
		45年7月1日から医科をさらに0.97引上げ	45 ('70)	8	3.0	1.3
47 ('72)	2	医科13.70、歯科13.70、薬局6.54	47 ('72)	2	3.9	1.7
49 ('74)	2	医科19.0、歯科19.9、薬局8.5	49 ('74)	2	3.4	1.5
	10	医科16.0、歯科16.2、薬局6.6				
51 ('76)	4	医科9.0、薬局4.9	50 ('75)	1	1.55	0.4
	8	歯科9.6				
53 ('78)	2	医科11.5、歯科12.7、薬局5.6、平均11.6	53 ('78)	2	5.8	2.0
56 ('81)	6	医科8.4、歯科5.9、薬局3.8、平均8.1	56 ('81)	6	18.6	6.1
58 ('83)	2	老人点数表を設定、医科0.3	58 ('83)	1	4.9	1.5
59 ('84)	3	医科3.0、歯科1.1、調剤1.0、平均2.8	59 ('84)	3	16.6	5.1
60 ('85)	3	医科3.5、歯科2.5、調剤0.2、平均3.3	60 ('85)	3	6.0	1.9
						治療材料 0.2
61 ('86)	4	医科2.5、歯科1.5、調剤0.3、平均2.3	61 ('86)	4	5.1	1.5
						歯科材料 0.1
63 ('88)	4	医科3.8、調剤1.7、平均3.4	63 ('88)	4	10.2	2.9
	6	歯科1.0				
平成 元年 ('89)	4	平均0.11	平成 元年 ('89)	4	2.4引上げ	0.65引上げ
2 ('90)	4	医科4.0、歯科1.4、調剤1.9、平均3.7	2 ('90)	4	9.2	2.7
4 ('92)	4	医科5.4、歯科2.7、調剤1.9、平均5.0	4 ('92)	4	8.1	2.4
						治療材料 0.1
5 ('93)	4	医療法改正に伴う改定				
6 ('94)	4	医科3.5、歯科2.1、調剤2.0、平均3.3	6 ('94)	4	6.6	2.0
						治療材料 0.1
	10	医科1.7、歯科0.2、調剤0.1、平均1.5				
8 ('96)	4	医科3.6、歯科2.2、調剤1.3、平均3.4	8 ('96)	4	6.8	2.5
						治療材料 0.1
9 ('97)	4	平均1.70 (うち消費税上げ0.77)	9 ('97)	4	4.4	1.27
						治療材料 0.05
10 ('98)	4	医科1.5、歯科1.5、調剤0.7、平均1.5	10 ('98)	4	9.7	2.7
						治療材料 0.1
12 (2000)	4	医科2.0、歯科2.0、調剤0.8、平均1.9	12 (2000)	4	7.0	1.6
						治療材料 0.1
14 ('02)	4	医科△1.3、歯科△1.3、調剤△1.3、平均△1.3	14 ('02)	4	6.3	1.3
						治療材料 0.1
16 ('04)	4	医科±0、歯科±0、調剤±0、平均±0	16 ('04)	4	4.2	0.9
						治療材料 0.1
18 ('06)	4	医科△1.5、歯科△1.5、調剤△0.6、平均△1.36	18 ('06)	4	6.7	1.6
						治療材料 0.2
20 ('08)	4	医科0.42、歯科0.42、調剤0.17、平均0.38	20 ('08)	4	5.2	1.1
						治療材料 0.1
22 ('10)	4	医科1.74、歯科2.09、調剤0.52、平均1.55	22 ('10)	4	5.75	1.23
						治療材料 0.13
24 ('12)	4	医科1.55、歯科1.70、調剤0.46、平均1.38	24 ('12)	4	6.00	1.26
						治療材料 0.12
26 ('14)	4	医科0.82 (0.71)、歯科0.99 (0.87)、 調剤0.22 (0.18)、平均0.73 (0.63) ()内は消費税率引上げにかかる対応分	26 ('14)	4	2.65 (+2.99)	0.58 (+0.64)
						治療材料 0.05 (+0.09)
28 ('16)	4	医科0.56、歯科0.61、調剤0.17、平均0.49	28 ('16)	4	5.57	1.22
						治療材料 0.11
30 ('18)	4	医科0.63、歯科0.69、調剤0.19、平均0.55	30 ('18)	4	7.48	1.65
						治療材料 0.09

診 療 報 酬		薬 価 基 準		
改定年月	引 上 げ 率 (%)	改定年月	引下げ率 (%)	
			薬価ベース	医療費
令和 元年 (2019) 10 月	医科0.48、歯科0.57、調剤0.12、平均0.41	令和 元年 (2019) 10 月	2.40	0.51 治療材料 0.03引上げ
2 ('20) 4	医科0.53、歯科0.59、調剤0.16、平均0.55(0.08) ()内は消費税財源を活用した救急病院における勤務 医の働き方改革への特例的に対応分	2 ('20) 4	4.38	0.99 治療材料 0.02
4 ('22) 4	医科0.26、歯科0.29、調剤0.08、平均0.43(0.20) ()内は※2~5の対応分 ※2 看護の処遇改善のための特例的に対応0.20% ※3 リフィル処方箋 (反復利用できる処方箋) の導 入・活用促進による効率化△0.10% (症状が安定 している患者について、医師の処方により、医療 機関に行かずとも、医師及び薬剤師の適切な連携 の下、一定期間内に処方箋を反復利用できる、分 割調剤とは異なる実効的な方策を導入すること により、再診の効率化につなげ、その効果について 検証を行う) ※4 不妊治療の保険適用のための特例的に対応0.2% ※5 小児の感染防止対策に係る加算措置 (医科分) の期限到来△0.10% なお、歯科・調剤分については、感染防止等の 必要な対応に充てるものとする	4 ('22) 4	6.69 (実勢価等改定分)	1.35 治療材料 0.02

2 令和4年度の人口一人当たり国民医療費算出に用いた人口

5歳階級・男女別人口（総人口）

(単位：千人)

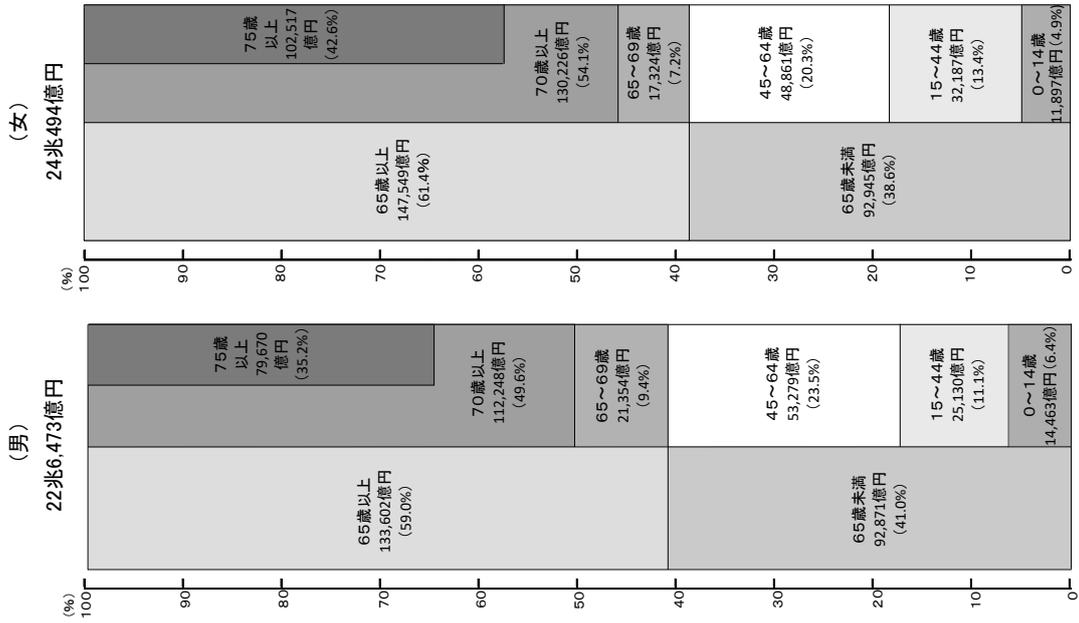
令和4年10月1日現在

年 齢 階 級	総人口	男	女
総 数	124 947	60 758	64 189
0 ～ 4 歳	4 247	2 174	2 073
5 ～ 9	4 948	2 535	2 413
10 ～ 14	5 308	2 720	2 588
15 ～ 19	5 512	2 830	2 682
20 ～ 24	6 263	3 216	3 047
25 ～ 29	6 412	3 295	3 118
30 ～ 34	6 446	3 300	3 146
35 ～ 39	7 212	3 668	3 544
40 ～ 44	7 946	4 028	3 918
45 ～ 49	9 462	4 792	4 671
50 ～ 54	9 435	4 756	4 680
55 ～ 59	8 075	4 036	4 038
60 ～ 64	7 445	3 684	3 761
65 ～ 69	7 535	3 665	3 870
70 ～ 74	9 337	4 405	4 932
75 ～ 79	7 030	3 151	3 878
80 ～ 84	5 743	2 392	3 350
85 ～ 89	3 955	1 429	2 525
90 歳 以 上	2 637	682	1 955
(再 掲)			
65 歳 未 満	88 711	45 033	43 678
65 歳 以 上	36 236	15 725	20 511
70 歳 以 上	28 701	12 060	16 641
75 歳 以 上	19 364	7 655	11 709

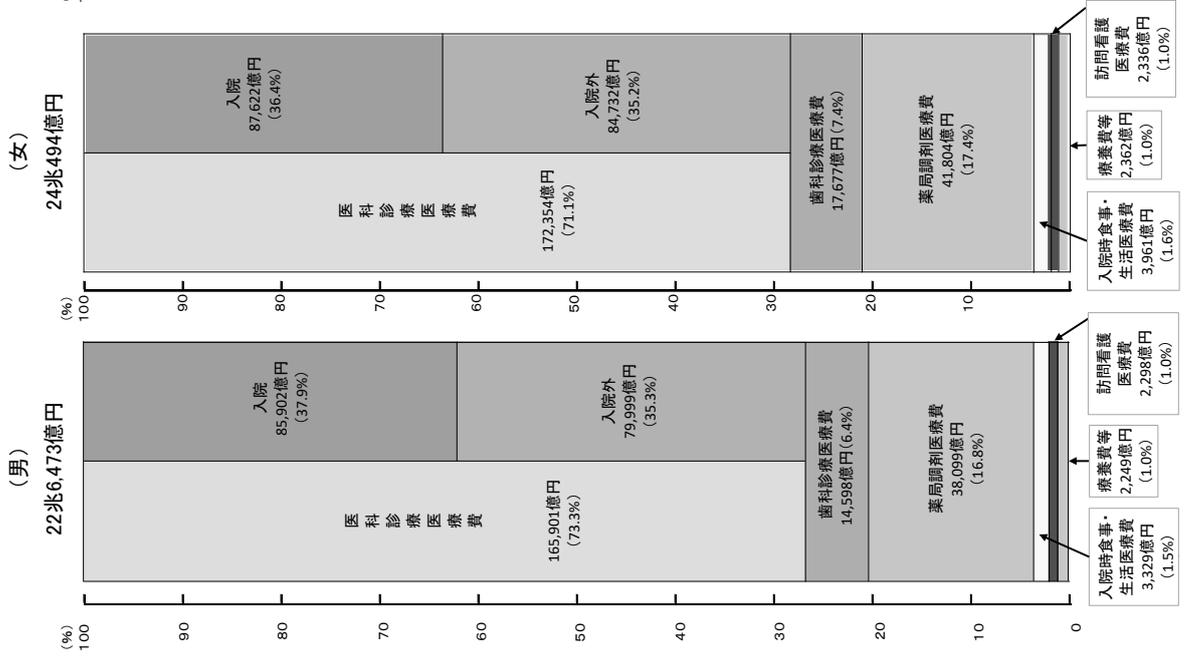
資料：総務省統計局「人口推計」

参考1 令和4年度 国民医療費の構造(性別)

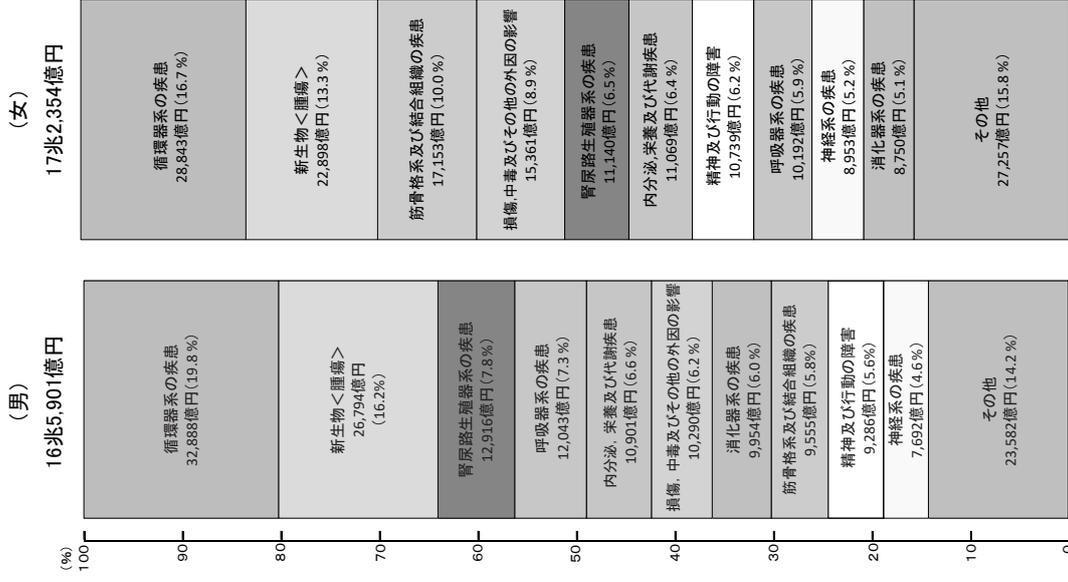
性・年齢階級別国民医療費



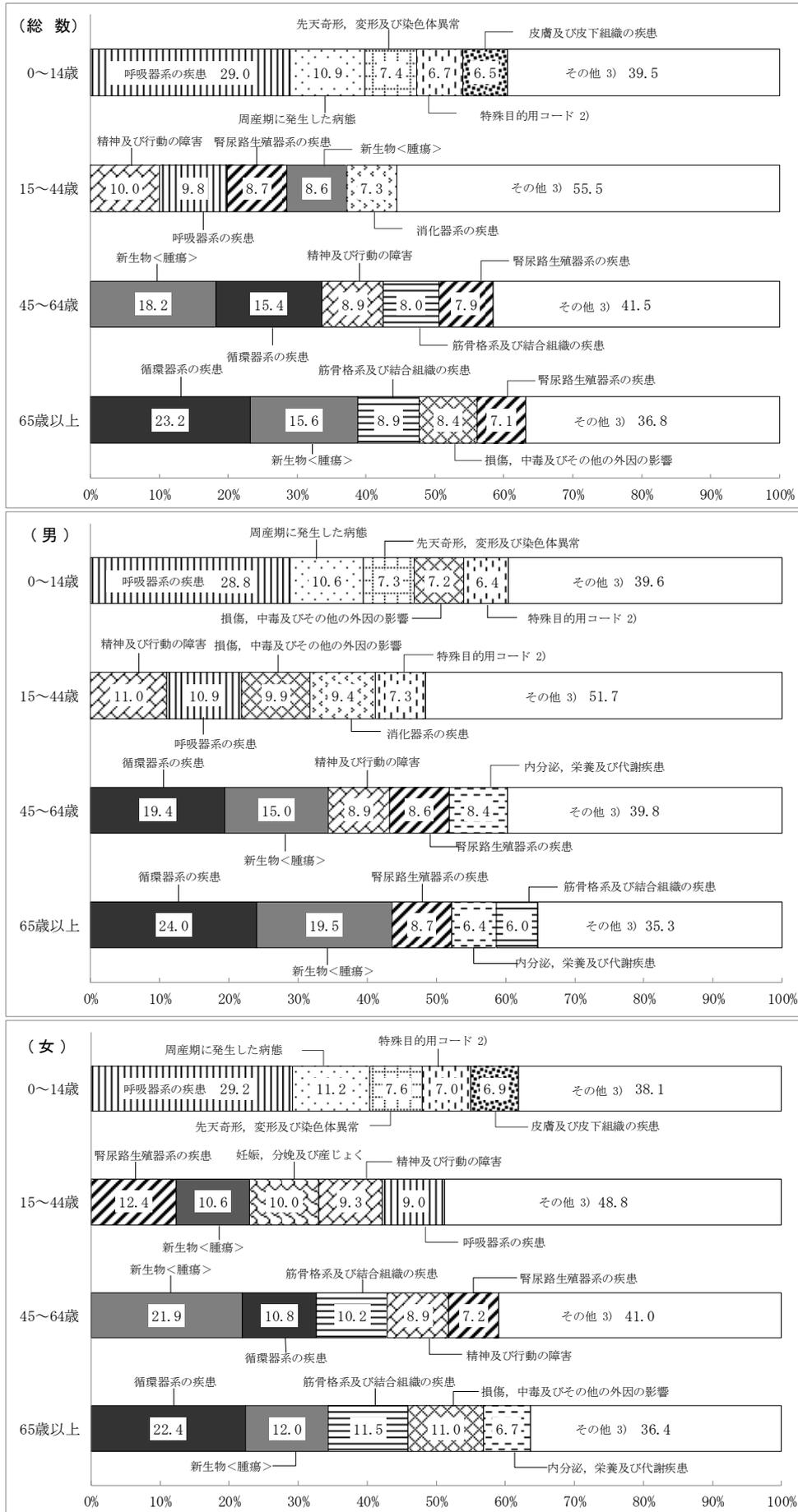
性・診療種類別国民医療費



性・傷病分類別医科診療医療費(上位10傷病)



参考2 性・年齢階級別にみた傷病分類別医科診療医療費構成割合(上位5位) 令和4年度(2022)



注：1) 傷病分類は、ICD-10(2013年版)に準拠し、主傷病により分類している。
 2) 「特殊目的用コード」は、COVID-19を含む。
 3) その他は、上位5傷病以外の傷病である。